

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

市区町村名 西粟倉村

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位の単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
西粟倉村	②学校と地域の課題	05 その他	<p>教職員の異動により地域の情報がリセットされ地域と学校の相関性も同様にリセットされる傾向にある。</p> <p>校内で引き継ぐ体制や仕組みづくり、地域を知る機会を設ける必要がある。</p>	<p>地域を知るために学校が地域を知る「村内巡り研修」を行う。</p>	<p>新任の教員はほぼ参加しており、西粟倉を知る良い機会になっている。また、幼・小・中で合同で行っていることから相互の地域の捉え方や考え方を知ることで西粟倉の一貫教育への一助となっている。</p> <p>一方で、在任期間の長い教員は消極的になっており、新たな地域の動きを知る機会を自ら逸している。</p> <p>学校・園がこれまで蓄積してきた地域の情報・リソースに加え、新たな村の動きを知る機会を設けることで、それぞれの活動に活かすことができると考える。</p> <p>これらを踏まえて、単純に地域を知るための地域巡りを行うのではなく、既存の情報蓄積システムを活用および活用できることを周知するとともに、職員の地域への関わり方や村の動きを認識し考えを共有する研修を行う。</p>	<p>これまでの学校園の取組を踏まえて、蓄積された既存リソース(地域住民・施設・自然環境)を活用し、幼小中それぞれで系統立てた学年間や学校園で関連付けられた授業を実施され社会規範や郷土愛が育まれる。</p>	<p>地域と学校との連携した授業において、学校園および学年間で関連付けられた学びを構成できた回数。</p>	0	回	4	14	<p>村内巡り研修を始めとした村を知る取組により、教員の地域への関わり方や興味は年々深みを増している。新任の教員にとっては地域学校協働活動推進員としても活動する村独自の取組の一つである教育コーディネーターを介して活動の流れを掴むことができ、また壁打ち役が存在することにより活動の幅を上げられ、より児童生徒に寄り添った自主的な活動が展開されるようになっている。</p> <p>一方で、児童生徒の主体性を促す過程で、必ずしも学校園に関連付けられた学びに導くことが難しい場面もある。すべてが関連付けられる必要はないが、村の特色として目指す学校園一貫とした教育のため、俯瞰的な授業構築が必要である。</p> <p>授業それぞれの性質や特色を鑑みながら上手く接続させることが必要であり、その技術を醸成することはながら主体性を重んじることによる弊害についても理解しておく必要がある。</p> <p>点的な見方ではなく、面的に捉えた構成となるよう、村の教育ネットワークや学校運営協議会なども含め学校園相互に共有しながら構築していく。</p>